

## 第 98 回(H28 年度第 1 回)MT 委員会議事録

日時: 2016 年 4 月 19 日 15:00–16:00

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井<sup>a</sup>(委員長)、延與<sup>a,†</sup>、阿部<sup>a</sup>、福西<sup>a</sup>、上垣外<sup>a</sup>、加瀬<sup>a</sup>、和田<sup>c</sup>、森本<sup>a</sup>、奥野<sup>a</sup>、櫻井<sup>a</sup>、  
矢向<sup>b</sup>、上野<sup>a</sup>、上藁<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>、吉田光<sup>a</sup>、山口<sup>b</sup>、磯部<sup>d,†</sup>、下浦<sup>b,†</sup>、本林<sup>a,†</sup>、吉田敦<sup>a,†</sup>、大津<sup>a,†</sup>、  
田中<sup>a,†</sup>、米田<sup>a</sup>

欠席: 上坂<sup>a</sup>、宮武<sup>c,†</sup>、羽場<sup>a,†</sup>、森田<sup>a,†</sup>、馬淵<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>KEK / <sup>d</sup>RIBF-UEC / <sup>†</sup>Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT 実施状況(米田)

MT の実施状況について報告があった。4 月 1 日から  $^{238}\text{U}$  ビームで SRC の運転を開始し、6 日から SRC-BigRIPS 実験を開始した。一般公開時に SRC-BigRIPS 実験は中断し、その間生物照射実験を実施する。その後、 $^{124}\text{Xe}$  に切り替えて SRC-BigRIPS 実験を再開する。

#### 2. 加速器運転報告(福西)

加速器の運転状況について報告があった。4 月 6 日午後 1 時から  $^{238}\text{U}$  ビームを SRC-BigRIPS 実験に供給している。最大強度は 37.2 pA で、昨年 5 月の MT と同程度であった。可用度は、SRC の RFトラブル等あったためこれまでのところ 84%にとどまっている。AVF 単独の RI 製造実験で使用する Wobblers 電磁石が RILAC2 のビームに干渉することがわかり、同時並行での MT 進行は回避することが望ましいことが指摘された。

#### 3. SAMURAI-TPC マシNSTAディ報告(磯部)

SAMURAI-TPC のマシNSTAディについて報告があった。4 月末に予定されている本実験で用いるものと同じセットアップで、磁場中での検出器、回路の動作を確認した。TPC の gating grid、トリガー用検出器、VETO 検出器いずれも想定通りの動作をし、粒子飛跡の再構成から反応点の導出に成功した。粒子識別についても、p, d, t, Z=2 まで分離識別できており、問題なく月末の実験を実施できることが確認された。

#### 4. PAC 進捗状況(米田)

PAC の進捗について、以下の報告があった。

- 17th NP-PAC:(12/1 - 3)

Call for Proposals は 7 月、課題申請締め切り 10 月上旬(10/11 あたり)の方針。次回以降、課題提出締め切り後の差し替えは受け付けない。

- 12th ML-PAC:2 月 16 日、17 日に開催した。次回は未定。
- 4th In-PAC:1 月 13 日に開催した。次回は未定。

## 【議題】

### 1. 前回議事録承認(酒井)

### 2. 2016年度上期MTスケジュール変更(米田)

共用促進より、2016年度上期のMTスケジュールの一部変更が提案され、審議された。変更は、1) 6月上旬のEURICAの2つの実験の順番を入れ替える、2) 9月下旬から10月上旬に割り当てられている有償利用MTを実験1日短縮する(開始を1日遅らせる)、の2点で、いずれも実験グループの希望によるものであった。

特に委員から異議は上がらず、共用促進提案の通り変更することとなった。

### 3. FY2016年間MTスケジュール(酒井)

来年度のMTスケジュール概要の案が共用促進より示され、意見の聴取が行われた。新施設の運転費が「5ヶ月分」と確定したことを受け、春は4/1から6/30までの3ヶ月間、秋は10月の停電後から12月にかけて運転費で実施できる分実施する。12月後半から2月ごろにかけて、吸収式冷凍機の更新工事が、1月下旬から2月上旬には冷却水ポンプの更新工事が実施される予定になっており、特に冷却水ポンプの更新工事期間は全施設運転不可となる。工事期間が具体的に決定するのは9月頃で、7月に行う下期のMT割り当て時には見込みで工事期間を避けておく方針とする。また、秋の新施設実験は $^{238}\text{U}$ のビームで開始し、もう1種類のビームは $^{48}\text{Ca}$ とする。 $^{70}\text{Zn}$ はRILAC2入射で大強度化の計画があり、そのためには放射線管理上の許可申請の更新とイオン源の試験が必要となる。委員の間からは特に意見は寄せられなかったが、 $^{70}\text{Zn}$ のRILAC2入射のためのイオン源試験は夏期に実施することとなった。

### 4. Au, TaのRILAC入射RRC加速について(米田)

実験グループより、AuまたはTaのビームのRRCからの供給の要望があったことが共用促進より報告され、対応が協議された。いずれのビームも、ビームエネルギー18~28MeV/u、ビーム強度0.1~1 pAの要望で、加速器基盤部で供給可能と判断された。ただし、Auの最高エネルギーは22.3 MeV/u、Taは25.1 MeV/uであることが指摘された。

### 5. 実験直前の2次ビーム変更申請への対応について

実験直前に2次ビーム設定の変更、追加を実験グループが申し出て、BigRIPSチームで対応に苦慮するケースがあることが実験装置運転維持管理室より指摘があり、対応が協議された。加速器使用計画書の変更期限が実験10日前となっていることを受け、10日前より後に変更の希望が実験グループから寄せられた場合は共用促進・産業連携部長、実験装置運転維持管理室長、共用促進チームリーダーで協議し、受け付けるかどうか判断することとなった。

## 【その他】

## 1. FY2016 MT 委員会メンバー(酒井)

FY2016 の MT 委員会のメンバーが報告された。前回報告済みの変更に加え、馬淵仁科加速器研究推進室長代理がオブザーバとして加わることとなった。

## 2. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 5/17(第 3 火曜日)15:00 - で調整する。
- 次々回 MT 委員会は 6/14(第 2 火曜日)15:00 - で調整する。

(以上)